

## 12 消耗部品の交換方法

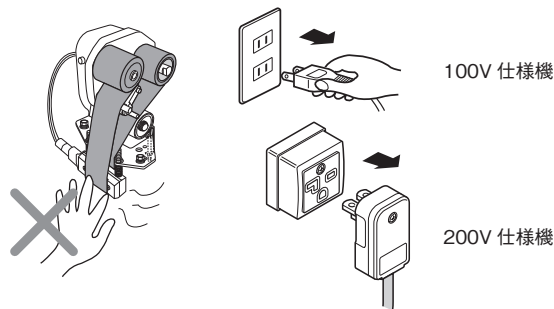
日々の作業を安定して能率的に行うために、作業前・作業後のメンテナンス・早い時期の消耗部品の交換をお勧めいたします。

以下の「消耗部品の交換方法」をよくお読みいただき、正しく作業を行ってください。

**警告** 消耗部品の交換やメンテナンスを行う時は、必ず電源プラグを手で持ってコンセントから抜き、プリンターのヒーター部が十分に冷えてから作業を行ってください。電源プラグを差し込んだまま作業を行うと感電する危険性があります。また、プリンターのヒーター部が十分に冷えていないと火傷の危険性があります。

**警告** 取扱説明書に記載されている以外の間違った方法で交換すると機械が正常に働かないばかりか、感電や火傷をする危険性があります。

**警告** 消耗部品は必ず弊社指定の部品をご使用ください。指定外の部品を使用されると製品の性能が正しく発揮できないだけでなく、故障の原因にもなります。



必ずシーラー本体の電源プラグをコンセントから抜いた状態で作業を行ってください。

### 12-1 FEP-N2 のプリントテープ交換

**警告** プリントテープを交換するときは、電源を OFF にして活字及び活字カセットケースが十分に冷えてから作業を行ってください。熱い時にプリントテープ交換作業を行うと火傷をする危険性があります。

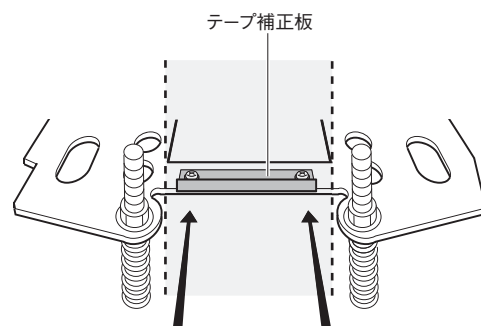
【必要物】セロハンテープ

FEP-OS-N2、FEP-V-N2（外側プリンター）の場合は「12-2 FEP-OS-N2、FEP-V-N2 のプリントテープ交換」（→ P.24）を参照してください。

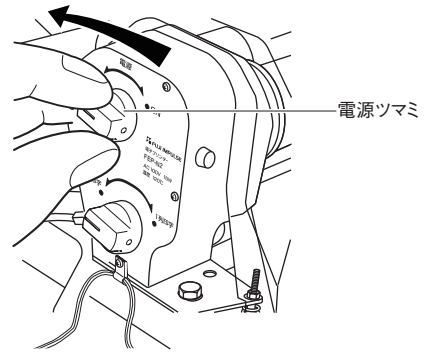
- 1 プリントテープ巻取り紙管に巻き取った古いプリントテープはプリントテープ巻取り紙管ごと取り外し、送り出しローラーにあるプリントテープ巻取り紙管は新しいプリントテープ巻取り紙管としてお使いください。

**MEMO** プリンターを購入していただいた時にはプリントテープ巻取り紙管は巻取りローラーに装着しています。

- 2 テープ補正板を一番奥に押込んだ状態にしてください。

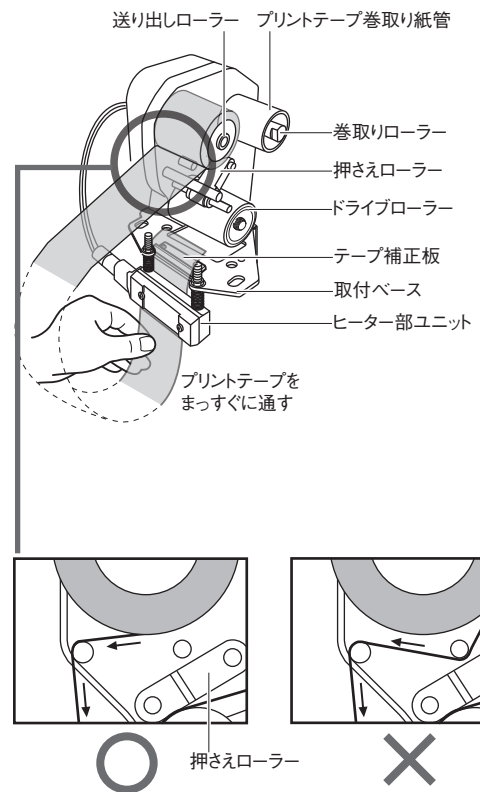


- 3 電源ツマミを左に回して OFF 状態にすると押さえローラーとドライブローラーの間に隙間ができます。



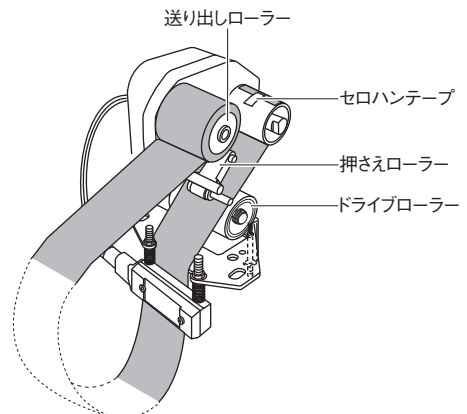
- 4 プリントテープを送り出しローラーにセットします。

- 5 プリントテープの端をヒーター部ユニットと取付ベースの隙間に通します。プリントテープの光沢のある面が活字に当たるようにセットしてください。



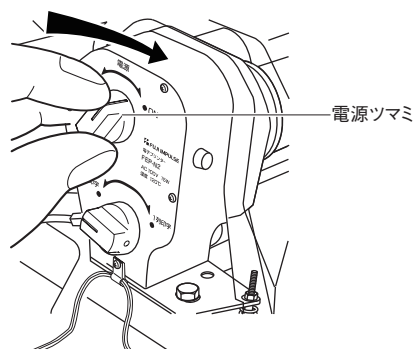
**注!** 必ずプリントテープがこの部品の上を通るように取り付けてください。

- 6 プリントテープをドライブローラーと押さえローラーの隙間にまっすぐに通して、プリントテープの先端をセロハンテープなどでプリントテープ巻取り紙管に貼り付けてください。

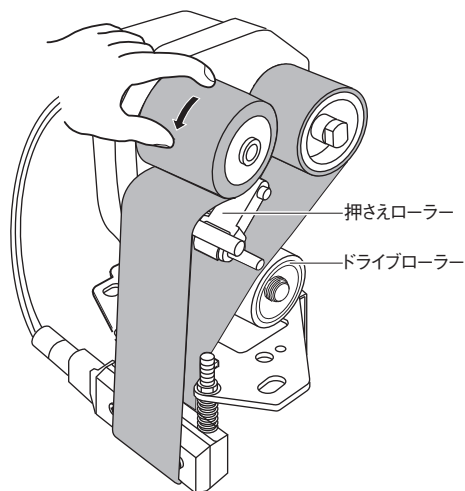


- 電源ツマミを右に回すと電源が ON になり、プリントテープが押さえローラーとドライブローラーに挟まれ固定されます。

**警告** 電源を ON にしてから、時間が経過するとヒーター部ユニットが熱くなり火傷の危険性がありますので充分注意してください。



- プリントテープのたるみを手でプリントテープを回して取ってください。

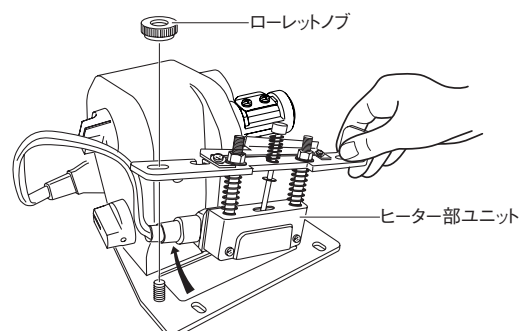
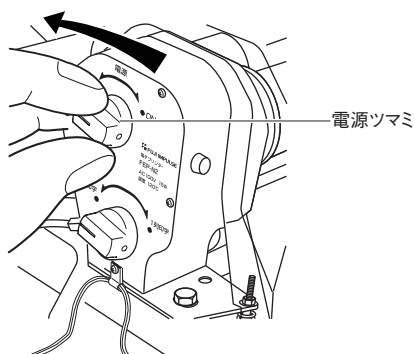


## 12-2 FEP-OS-N2、FEP-V-N2 のプリントテープ交換

**警告** プリントテープを交換するときは、電源を OFF にして活字及び活字カセットケースが十分に冷えてから作業を行ってください。熱い時にプリントテープ交換作業を行うと火傷をする危険性があります。

FEP-N2 (内側プリンター) の場合は「12-1 FEP-N2 のプリントテープ交換」(→ P.22) を参照してください。

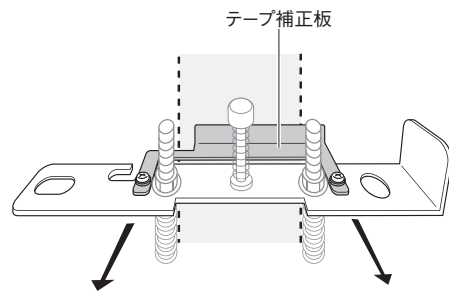
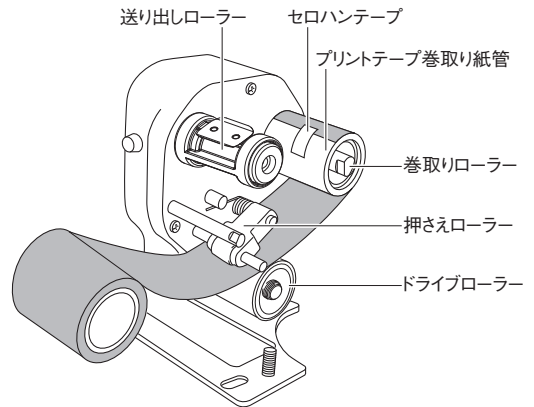
- 電源ツマミを左に回して OFF 状態にすると押さえローラーとドライブローラーの間に隙間ができます。
- ローレットノブを緩めてヒーター部ユニットを取り出します。



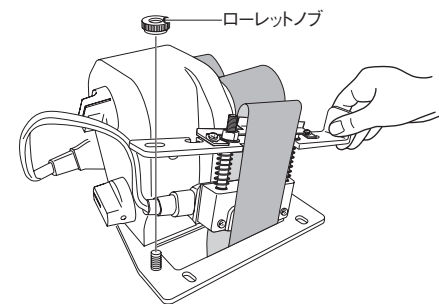
- 3 プリントテープ巻取り紙管に巻き取った古いプリントテープはプリントテープ巻取り紙管ごと取り外し、送り出しローラーにあるプリントテープ巻取り紙管は新しいプリントテープ巻取り紙管としてお使いください。

**MEMO** プリンターを購入していただいた時にはプリントテープ巻取り紙管は巻取りローラーに装着しています。

- 4 プリントテープの光沢のある面が活字に当たるように、プリントテープの先端を押さえローラーとドライブローラーの隙間にまっすぐに通して、セロハンテープでプリントテープ巻取り紙管に貼り付けます。
- 5 テープ補正板を一番手前にした状態にしてください。

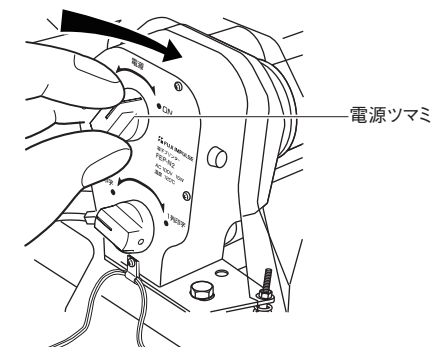


- 6 たるませたプリントテープの間にヒーター部ユニットを通して元通りにローレットノブで固定しセットします。
- 7 プリントテープは、少したるませたままで送り出しローラーにセットします。

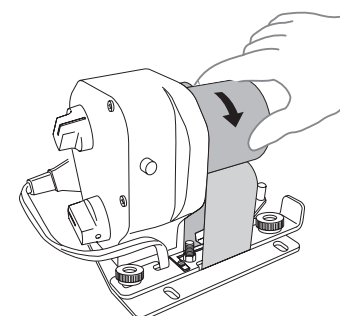


- 8 電源ツマミを右に回すと電源が ON になり、プリントテープが押さえローラーとドライブローラーに挟まれ固定されます。

**警告** 電源を ON にしてから、時間が経過するとヒーター部ユニットが熱くなり火傷の危険性がありますので充分注意してください。



- 9 右イラストの方向にプリントテープを手で回してプリントテープのたるみを取ってください。



## 12-3 活字の交換

【必 要 物】 附属品のピンセット、オープナー

活字は単品販売、セット販売しています。

**警告** ヒーター部及び活字は高温になっていますので、活字交換の際は十分に注意して作業を行ってください。

活字交換は十分に活字カセットケース内の活字が冷えてから行ってください。

- 1 プリントテープカバーを取り、プリントテープを取り除きます。

### 外側プリンターの場合

外側プリンター（FEP-OS-N2、FEP-V-N2）の場合、プリンターのヒーター部ユニットをシーラーに取り付けた状態での活字の交換は困難です。

プリントテープカバー、プリントテープを取り除いてヒーター部ユニットの白色の電源プラグを抜きます。ローレットノブを緩めてヒーター部ユニットを取り出した状態で活字の交換を行ってください。「12-1 FEP-N2 のプリントテープ交換」（→ P.22）、「12-2 FEP-OS-N2、FEP-V-N2 のプリントテープ交換」（→ P.24）を参照してください。

### 2 ■ FEP-N2

附属のピンセットなど先の細い物を、ヒーター部ユニットの上の長穴から押し込んで活字カセットケースを押し出します。

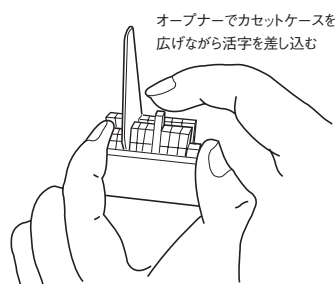
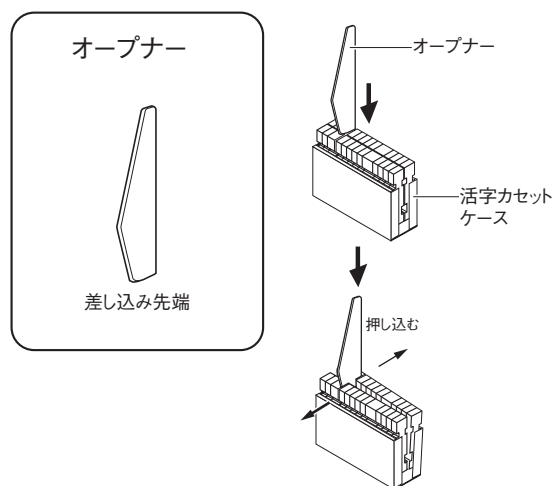
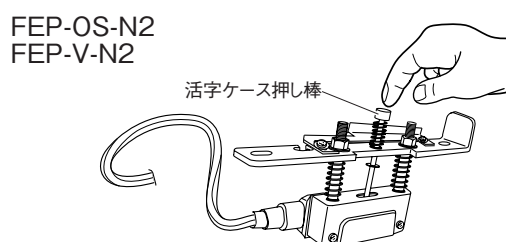
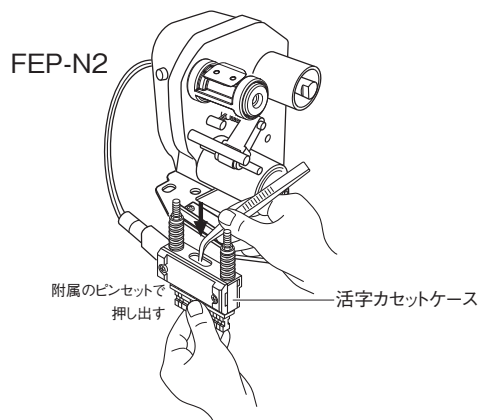
### ■ FEP-OS-N2、FEP-V-N2

活字ケース押し棒を指で押して、活字カセットケースを押し出します。

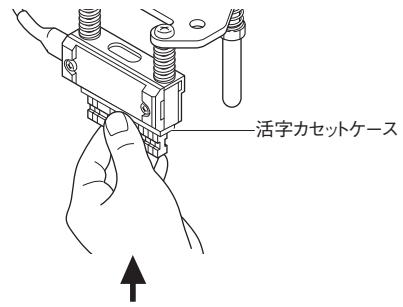
- 3 附属の活字交換用オープナーの端を右イラストのように活字カセットケースの活字と活字の間に差し込みます。

オープナーの幅の広いほうを使用してください。活字カセットケースが広げられて活字が取り出せるようになります。

- 4 活字をセットするときは、オープナーで活字カセットケースを広げながら差し込みます。活字の溝が活字カセットケース先端のL型に曲がった部分にはまるようにセットしてください。



- 5 活字カセットケースを取り付けるときは、活字カセットケースをヒーター部ユニットに押し込んでセットした後、「12-1 FEP-N2 のプリントテープ交換」(→ P.22)、「12-2 FEP-OS-N2、FEP-V-N2 のプリントテープ交換」(→ P.24)を参照して、プリントテープをセットしてください。



注意

少ない活字をセットする場合は出来るだけ活字カセットケースの中央に取り付けてください。  
活字が左右どちらかにかたよると印字不良の原因になります。

例) 「50g」の活字をセットする場合

